

統計だより

県内各市町の統計所管課だより(その21 新上五島町)

新上五島町 総合政策課 山下 洸

【新上五島町の紹介】

新上五島町は、九州の西端、長崎県五島列島の北部に位置し、中通島と若松島を中心とする7つの有人島と60の無人島から構成されています。本土には奈良尾港から長崎港まで77km、有川港から佐世保港まで60kmの距離（いずれも直線）にあり、総面積は、213.99平方キロメートルです。

地形は、全般に細長く、急峻な山々が連なり、東は五島灘、西は東シナ海に面しており、自然の美しさと荒々しさをあわせもっています。平地は海岸沿いにわずかに広がっている程度であり、海岸延長は約429kmに及び、波の浸食できりたった断崖の荒々しさや白砂の自然海岸など、様々な表情を持つ海と急峻な山々が織りなす景観は本町の特徴となっています。また、東海岸の断崖の眺望と西海岸に広がる若松瀬戸の景観は、非常に美しく観光客にも人気があります。海と山の豊かな自然を擁する新上五島町は、その大部分が西海国立公園に指定されています。



【交流人口（観光客数）】

新上五島町は、観光を産業の重要な部門として位置づけ、賑わいの創造と交流人口の拡大を目指し、様々な施策に取り組んできました。交流人口は、地域の振興に大きく影響を及ぼすため、まちづくりにおいては新上五島町に住んでいる人だけでなく、新上五島町を訪れ、活動する人の視点も重要です。新上五島町を訪れる観光客数は、平成14年から平成20年まで減少傾向で推移してきました。しかし、平成24年から増加傾向にあります。今後も新上五島町が持つ資源を最大限に活用し、魅力ある観光のしまづくりをより一層高め、情報発信しながら、交流人口の増加や雇用の場の創出を目指していきます。



※平成29年より集計方法が変更されています

(R1) 長崎県観光統計

～統計データ編～

【新上五島町の産業構造】

区分	総生産額（百万円）		就業人口（人）	
	*	構成比	(H27国勢調査)	構成比
第1次	7,002	12.1%	865	10.6%
第2次	6,438	11.1%	1,331	16.3%
第3次	44,114	76.2%	5,923	72.7%
その他	346	0.6%	27	0.4%
計	57,900	-	8,146	-

(H30 市町村民経済計算)

新上五島町の総生産額（平成30年度）は、579億円で、県全体（4兆6,765億5600万円）の1.2%を占めています。総生産額の産業別比率を見ると、上位から「運輸・郵便業」82億3100万円（14.2%）、「保健衛生・社会事業」74億7700万円（12.9%）、「水産業」67億400万円（11.6%）となっております。特に水産業については、県内の離島で1位、県内全体で見ても上位の総生産額となっており、本町を代表する産業であることを示しています。

しかし、近年の水産業を取り巻く環境は、高齢化や担い手不足、燃料の高騰、予想を超える自然災害など非常に厳しい状況にあります。このようなことから、魚類養殖業の拡大や外国人技能実習生の受入れを進



定置網



養殖業（マグロ/水中）

めると共に、防災対策の強化を推進するなど持続的に操業できる体制づくりに取り組んでいます。

【統計調査について】

今年行われる「就業構造基本調査」は、国民の就業及び不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料を得ることを目的としています。この調査は、国が実施する統計調査のうち統計法により特に重要なものとされる「基幹統計調査」ですので皆様のご協力をお願いいたします。